



# 全自交東京

全国自動車交通労働組合  
 東京地方連合会  
 〒151-0051東京都渋谷区千駄ヶ谷3-7-9  
 TEL03-3408-0876  
 FAX03-3408-0880  
 発行責任者 書記長 直井幸男

## 全自交東京地連第125定期大会

「運賃改定で賃金・労働条件の改善をめざそう」のスローガンを掲げ、東京地連は第125回定期大会を10月27日に新宿区四谷区民ホールで開催しました。大会は、役員・代議員など約180人が参加し、新年度運動方針、予算など全議案を原案通り満場一致で承認し成功裡に終了、新年度の新たなスタートを切りました。

### 運賃改定で賃金・労働条件の改善をめざそう

### 「安全・安心・信頼」のタクシーを地域公共交通の中心にしよう



主催者代表挨拶に立つ見須一隆執行委員長

全自交東京地連は、10月27日、新宿区四谷区民ホールで第125回定期大会を開催しました。掛川正一副執行委員長長の開会挨拶で始まり、議長に春日輝義(帝都)書記に木藤隆照(京王)両名を選出し、大内蔵一也(京王)資格審査委員長より資格審査結果の報告があり、議長より

大会成立宣言が有りました。続いて青木隆行(大和)大会運営委員長より議事日程の提案があり、会議が始まりました。初めに主催者代表挨拶で、見須一隆執行委員長は冒頭、代議員、中央委員並びに来賓に対し謝意を述べられました。挨拶では「この一年コロナ禍でしつ

か社会の動きが変わってまいりました。我々や事業者も大変な思いをしてきました。地域の公共交通機関として地域に貢献できるようにしなければなりません」

運賃改定については「今までにない14、24%の改定率になりました。この改定では8%が労働条件改善分です。使用者としっかり交渉し勝ち取って頂きたいと思います」と述べられました。

次に来賓挨拶があり、



来賓挨拶・溝上泰央中央執行委員長

「溝上泰央・全自交労働中央執行委員長」、内村昌司・連合東京会長代行、「高島康彦・東京交運労働副議長」、「西沢けいた・都議会議員」、山口拓・都議会議員、「東京共同法律事務所・五十嵐潤弁護士」、「西東京法律事務所・森井利和弁護士」、中央労働金庫東京本部・野中伸一都県統括部長、「こくみん共済コープ東京推進本部・瀧澤武宏本部長」より激励のご挨拶がありました。

その中で、溝上泰央全自交労働中央執行委員長は挨拶で「東京地連が本日、125回定期大会を迎えられたことは先人の激動の歴史を感じ、昨年の統合でも連合東京などのお力をお借りして頂いたよ

うに関係するすべての皆様のご支援が有りましたことだと思えます。これからも東京地連の皆様には、ハイタク労働者の先頭にたち全自交運動の前進をさせる牽引役としてともに歴史を刻んでいくことを願います」また、運賃改定に触れられ「15年ぶりの東京特別区・武三地区の運賃改定では来月からスタートします。8月以降全国で運賃改定の申請が14地域で出されています。この運賃改定では、賃金・労働条件改善に充てられなければなりません。しかし運賃改定をしてもすでに東京特別区・武三地区では事業者が運賃改定に乗り歩合給の引き下げなどを提案していることが実在しています。

### 新年度運動方針

直井幸男書記長は、新年度運動方針案を提起しました。

①ライドシェア白タク合法化阻止、「交通の安全と労働を考える市民会議」が、全国各地で開催する公開シンポジウムへの協力や、街宣伝行動を実施して、ライドシェアの危険性を世論に訴えながら公共交通機関としてのハイタク産業を、より優れたハイタク産業へと導く運動を展開していきます。②適正化・活性化の推進、「改正タクシー適正化特別措置法」のもと、関東運輸局、東京運輸支局、東京都、警視庁、東タク協、東京タクシーセンターなどと緊密に情報交換し要求に向けた協議を進めます。③組織拡大の推進運動の幅を広げ、対外的に有利な展開を求めるために組織拡大は最重要事項として、現場からの情報収集、街頭宣伝行動など、更に効果ある方法を考え組織拡大を目指します。④政策・制度要求の実現、東京ハイタク労働団体・東京交運労働協などで政策・制度要求を立案、要求をしています。産別労組が一致団結することは要求実現にむけて有効な力となり今後も発展継続していきます。⑤新型コロナウイルス感染症拡大への対策、基本対策として、安全対策・保障問題・稼働調整・支援対策など、市民生活に欠かせないハイタク産業存続のために、労働組合として積極的



全自交

# 全自交労連第81回定期大会

## ライドシェア合法化阻止 地域公共交通は我々が守る

全自交労連第81回定期大会が、静岡県静岡市の男女共同参画センターあざれあに全国から代議員・中央委員・役員・傍聴など200名を超える参加者が集まり開催されました。その他多くの来賓が激励に駆けつけ挨拶をされました。

全自交労連は、10月16日、17日の両日定期大会を開催しました。

掛川正一副委員長の開会挨拶の後、主催者を代表し溝上泰央中央執行委員長は「コロナ感染症は、ハイタク労働者をより窮地に追い込んだが、人流とともにハイタク需要も回復傾向にある。しかし、コロナは終息したわけではない、一掃の感染対策をお願いしたい」と述べました。



## 全自交労連静岡大会

また、ライドシェア合法化阻止について「コロナ過で影を潜めていたライドシェア導入勢力が自民党の菅義偉前首相の発言以降、容認論が噴出してきた。また、作為的なマスコミ報道もある。神奈川版ライドシェアでは黒岩裕治知事が運行管理はタクシー会社に任せるなどとして、安全の担保を考えるものとするもの、安全コストはどこに負わせるのか、プラットフォームにはそうした考えは全くない。受益者負担になつてしまふ」など懸念を示しました。続けて「かつてライドシェアを解禁していない馬鹿な国といた人がいたが、これは、2016年の話で、今では先進国38カ国で禁止され、導入したところも問題が山積、司法裁判所が禁止を決定したところもある。米国、中国ではある程度ライドシェアが普及しているが、これは安全・安心を利用者に提供できるタクシーがないためだ。全自交労連としては、地方創成を目的にした経済対策の爲であったも、安全を脅かすライドシェア導入は反対だ」として公式声明を提出した。ライドシェア合法化阻止へ理解と協力を求めました。

# 日交労働組合定期大会

日交労働組合は、10月9日、千代田区お茶の水の全電通労働会館で第87回定期大会を開催しました。役員選挙で、溝上泰央執行委員長、星元陽副執行委員長、藤田健一書記長、中谷文雄常任執行委員長が再任されました。また、全自交東京地連書記次長に板橋支部・奥村公章氏を送りだすことを決めました。来賓には、松永次央



帝都自動車交通労働組合は、10月7日、千代田区お茶の水の全電通労働会館で第88回定期大会を開催しました。役員改選で、掛川正一副委員長、吉田昌央執行委員長、玉川禎副委員長が再任されました。また、鈴木剛生書記次長(竹橋支部)が新任、執行部は4人体制となりました。

## 帝都労働組定期大会



「本日にライドシェアは必要なのか、地域公共交通を破壊するだけで利用者の安全・安心が担保出来なくなる事は明白だ。ライドシェア合法化阻止を組織の総力を挙げて阻止しよう」と述べました。

# 京自労定期大会

京王自動車労働組合は10月3日、八王子市のいちようホール八王子市芸術文化会館小ホールにおいて、執行委員20名・中央委員31名・代議員61名(委任状を含む)が参加し、2023年度京自定期大会を開催しました。役員改選で、松本和也執行委員長(新任)、堀田貴彦副執行委員長(再任)、大蔵内一也(再任)、矢野裕明常任執行委員



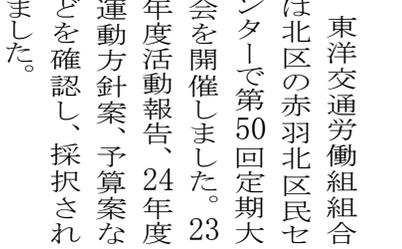
大和自交労組は9月27日、江東区の森下文化センターで第78回定期大会を開催しました。任期満了に伴う役員改選で森合剛委員長が退任し、新委員長に内田亨副委員長が就任しました。副委員長には林三樹郎・日比谷支部長、書記長には本木弘・立川支部長が就任し三役全員が交代しました。挨拶した内田新委員長は「この体を大地に叩きつける思いで大和自交労組の発展のために働く決意である。三役全員と他の中央委員も新任が多いので、みんなでしっかりと連携を取って新しく出発する」と意気込みを見せました。

## 大和自交労組定期大会



東洋交通労働組合は北区の赤羽北区民センターで第50回定期大会を開催しました。23年度活動報告、24年度運動方針案、予算案などを確認し、採択されました。

# 東洋交通労働組合定期大会



役員改選で菊池るみ執行委員長、筒井守副執行委員長、岩淵マリ書記長をそれぞれ信託し、執行委員だった河西純菅氏が新たに書記長に就きました。運動方針としてはライドシェア白タク合法化

## 改進黨労働組合定期大会



10月22日、足立区梅田学習センターにて年次定期大会を開催致しました。来賓に、全自交東京地連久我書記次長はじめ日交労の星副執行委員長、日交グループ協議会事務局長でワイエム交通労働組合青木執行委員長、日交労千住支部北野支部長よりお祝いのご挨拶を頂きました。大会は、2023年度活動及び会計・会計監査報告、議事事項2024年度運動方針案、会計予算案、年間開催行事案、執行部委員手当案が疑応答を経て承認及び可決されました。